北海学園大学 学報

北海学園大学学報
発行・編集　北海学園大学
札幌市豊平区旭町４丁目
１番40号　〒062-8605
電話 011(841)1161
FAX 011(824)3141
URL http://hgu.jp/
gakuho@tyhr.hokkai-s-u.ac.jp
発行日（６月１日、９月１日、
12月１日、３月15日）
購読料　１部80円　年間320円
制作・印刷　株式会社人力社

主な記事

学長室から「保護者懇談会学長挨拶要旨」――2面
平成27年 司法試験合格――3面
市民公開講座――4面
同窓生の声 株式会社エフエム北海道 前田正義氏――5面
プロ野球ドラフト 西武から2位指名 経済学部2部 川越選手――6面
国際交流プログラム――7面
企業から見た就活ポイント――8面

平成28年度

大学院 工学研究科 改組転換
電子情報生命工学専攻設置

工学部生命工学科長
山ノ井（やまのい） 髙洋（たかひろ）

近年、先端科学技術分野の研究では、エレクトロニクスと様々なレベルで結びついた工業技術開発、情報処理の高度化・複合化に関わるソフトテクノロジー、あるいは電子工学と情報工学との融合化などの「多視点化」の重要性が認識されるようになってきています。このような社会の動向を受け、工学研究科電子情報工学専攻では、設置当初からこれまで、電子工学と情報工学の相乗的連帯化を目指した教育研究を鋭意進めてきていました。

しかし、このような科学技術の高度化・細分化に呼応して、社会が大学に期待する人材の技術育成レベルは、学部課程から修士課程へ、さらに専門的な博士課程レベルにグレードアップされていく傾向にあります。

また、新規産業の開拓に結びつく次世代テクノロジーは、専門化された複数の領域にまたがる基本技術の組み合せから生まれることも多く、細分化・多様化する科学技術を習得しつつも、異分野技術に注視しそれを理解する幅広い適応力がまた必要とされる時代となりました。このように、電子情報工学専攻においても、従来の専門分野の枠を越えて、目的に応じ多様かつ弾力的に各専攻を編成・運用する努力が一層求められるようになってきました。

このような状況のもと、本工学部では、平成24年に生命工学科を設置し、新たに融合・連携を目指す次世代キーテクノロジーに「生命工学」を設定して、段階的に大学院工学研究科の専攻課程の整備を進めてきました。所属する専攻の大学院生には、幅広い専門分野にわたって横断的に基礎知識・技術の習得を目指すは勿論のこと、専攻としては、それらを有機的に発展させることのできる豊かな創造性と応用力を備えた研究者・技術者を養成することも務めであります。

この改組転換に当たっては、学校法人北海学園、大学、工学研究科の3者が密接な連携をとり、周到に準備し、今年9月に文科省に新専攻設置を届け出、これが受理されました。平成28年度からは、電子情報工学専攻修士課程は、装いも新たに、電子情報生命工学専攻修士課程としてスタートを切ることになりました。

すでに、修士課程の入学試験を終え、新年度は、新専攻に最初の入学生を迎えることが決まっています。

修士課程が完成する（最初の卒業生が出る）のは平成30年3月ですが、その年の4月には、博士（後期）課程にも電子情報生命工学専攻を設置すべく、すでに検討を開始しました。

北海学園大・北海商科大 モンゴル文化教育大学 交流協定締結

学校法人北海学園・北海学園大学および北海商科大学とモンゴル文化教育大学は9月14日、科学技術と教育における交流促進、かつ相互理解と友好を深めるため協定を締結した。具体的な内容は次の通り。

一．学術研究の交流と学術情報交換
両教育機関は、学術研究の交流および学術情報（学内印刷物、研究論文、研究資料）の交換を通じて、学問および文化の発展をはかる。

二．教員および研究員の交流
教員および研究員の交流を通じて、学術研究の発展をはかる。

三．学生交流と研修
学生の交流および学生の長・短期研修を実施する。

四．教職員研修と訪問
教職員および学校関係者の研修と訪問を積極的に行う。

左からモンゴル国文化教育大学牧原創一理事長、トムルオチル学長、学校法人北海学園森本正夫理事長、木村和範学長

「高大接続改革実行プラン」研修会開催

「高大接続改革実行プラン」研修会

昨年12月22日の中央教育審議会答申「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体改革について」に基づいて、文科相決定の「高大接続改革実行プラン」（以下プラン）が2015年1月16日に発表された。

教職員の理解を深める目的でプランの研修会が開かれた。（株）大学ソリューション・パートナーズ小島富夫マーケティング&コンサルティングフェローを講師に「入試環境の変化と高大接続改革実行プランの概要」と題する講演に、教職員約60名が参加し活発な意見交換も行われた。

平成27年度9月期
卒業証書・学位記授与

去る9月30日、ホテル札幌ガーデンパレスにおいて、平成27年度9月期卒業証書・学位記授与式が行われた。学部卒業生96名（経済学部28名・経営学部16名・法学部26名・人文学部7名・工学部19名）と大学院修了生2名（経営学研究科・修士課程1名、文学研究科・修士課程1名）を送り出した。

一人一人に卒業証書・学位記が授与されたあと、木村学長から式辞が述べられた。

平成27年度9月期卒業生・修了生数

学部等	学科および研究科		H27年度9月期
経済学部	1部	経済学科	6
		地域経済学科	4
	2部	経済学科	12
		地域経済学科	6
経営学部	1部	経営学科	3
		経営情報学科	5
	2部	経営学科	8
法学部	1部	法律学科	6
		政治学科	5
	2部	法律学科	12
		政治学科	3
人文学部	1部	日本文化学科	1
		英米文化学科	3
	2部	日本文化学科	2
		英米文化学科	1
工学部		社会環境工学科	4
		建築学科	7
		電子情報工学科	8
1部 計			52
2部 計			44
計			96
大学院	経営学研究科（修士）		1
	文学研究科（修士）		1
	計		2
大学・大学院 合計			98

（単位／人）

卒業証書・学位記が授与された

木村学長 式辞（要旨）

本学の長い歴史において、経営学部を構成する経営学科が経済学部に設置されて50年の節目の年に卒業する皆さん、卒業おめでとうございます。ご列席くださった関係各位にも祝意を表します。本日、授与された学位記が、この後の幸せな人生のパスポートになることを願っています。

本学は、開拓者精神を建学の精神として1950（昭和25）年に設置された北海短期大学を改組転換し、1952年に北海道で初めての4年制私立大学として産声を上げました。その後、社会的ニーズに応えるべく拡充を続け、北海道を代表する私立総合大学へと成長し、地域密着型大学として高等教育を牽引してきました。

本学を「永劫の心のすみか」（学歌）とする卒業生は8万1千人を超え、本道企業の社長の人数は本学が第1位になりました。本学の卒業生が本道経済界をリードしていると言っても過言ではありません。5年後（2020年（平成32）年）は、創基70年の節目に当たります。有為な人材の多さと本学が紡いできた歴史・伝統は、本学の誇りであり、このことを皆さんと共有したいと願います。

己の幸せが他人の不幸の上にあることを恥として、心豊かに健康にこれからの人生を歩むことを、切に切に願うとともに、皆さんの未来に幸多かれと祈ります。残る教員と事務職員はそれぞれの職責を果たし、卒業生だけでなく社会からの期待に応えるべく努めます。

本学工学部と北海学園札幌高等学校
高大連携事業覚書調印

昨年、本学と北海学園札幌高等学校が、双方における教育内容の質的向上と学生・生徒の資質向上を図るため締結した高大連携事業協定に基づき、11月9日、工学部が覚書を取り交わした。覚書には、北海学園札幌高校・大西修夫校長、工学部長真柄祥吾教授が署名・捺印した。

主な連携事業の内容は、北学園札幌高校の生徒が勉学意欲を高め進路決定に向け視野を広げる場として、学部講師の講義を受ける機会を設ける。また、北海学園札幌高校は、工学部の教職課程を受講している学生を夏季及び冬季休業に行う補充講習のチューターとして受け入れるほか、協議の上、教育実習生として受け入れを行うなどとなっている。

これにより、北海学園札幌高等学校と本学5学部すべてで覚書が調印された。

左から北海学園札幌高校・大西修夫校長、木村和範学長、工学部長・真柄祥吾教授

ビジネスミーティング英語力
一般社団法人大学英語教育学会EBP調査研究特別委員会／一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会 著　寺内 一 監修／藤田 玲子・内藤 永 経営学部教授 編
ビジネスの現場で英語が国際共通語として使用される場面が増えている。英語によるミーティングでビジネスパーソンが感じる困難をアンケート・インタビュー調査によってまとめた報告書。
定価（本体 一、五〇〇円＋税）
朝日出版社

社会的ネットワークを理解する
C・カドゥシン 著　五十嵐 祐 監訳／古谷 嘉一郎 経営学部講師 他 共訳
社会的ネットワークの形成・維持を支える人間行動の基本原理について、SNSの普及など環境変化も踏まえたうえで、社会学の古典的知見を基盤に理論的に解説する。
定価（本体 三、四〇〇円＋税）
北大路書房

1からの病院経営
木村 憲洋／的場 匡亮／川上 智子 編著　関谷 浩行 経営学部講師 他 共著
第一線で活躍する医師、看護師、公認会計士、経営学者が、病院経営の初学者を対象に、さまざまな病院・病院グループの傑出した実践事例を紹介しながら、そのエッセンスを解説する。
定価（本体 二、四〇〇円＋税）
碩学舎

介護・医療の施策と財源
―自治体からの再構築―
横山 純一 法学部教授 著
介護保険の改正、広域連合・病院の状況など近年の自治体政策に関わる動向を財政学の視点から検証。福祉先進国フィンランドの現状についても、さまざまな視点から言及する。
定価（本体 三、二〇〇円＋税）
同文舘出版

首相秘書官が語る 中曽根外交の舞台裏
米・中・韓との相互信頼はいかに構築されたか　長谷川 和年 著／若月 秀和 法学部教授 他 共編
中曽根内閣期の官邸主導外交を事務方として担当した秘書官による回想録。秘書官時代のみならず重要政策の第一線で活躍した外交官時代の証言から、現代史の重要な局面の舞台裏がよみがえる。
定価（本体 二、六〇〇円＋税）
朝日新聞出版

幼年と少年時代の幻想
W・B・イェイツ 著／川上 武志 人文学部教授 訳
大都市のロンドンと、幼少期に過ごしたスライゴ―。英国とアイルランドの間で育った二十世紀最大の詩人イェイツが、父親との絆など、ほろ苦い青春時代を綴る。
定価（本体 二、二〇〇円＋税）
英宝社

源氏物語 宇治の言の葉
井野 葉子 人文学部准教授 著
『源氏物語』のある場面の言葉は、異なる場面や他の作品にも登場し、互いに呼応して新たな意味を生み出す。宇治十帖の物語を中心に、言葉の響き合いに耳を傾け、新しい（読み）の可能性を追う。
定価（本体 七、五〇〇円＋税）
森話社